

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY FUZOKU TAKANAWADAI SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第244号



東海大学付属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2006年5月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP\*NEWS

知的財産教育国際シンポジウムの開催 本校アリーナにて

クラリネット8重奏 全日本アンサンブルコンテスト 銀賞 に輝く

ゴルフ部、アーチェリー部 全国大会に出場



日本・アメリカ・EUのパネラーによる討論



クラリネット八重奏のメンバー

左から平野さん 鍋谷さん 鈴木さん 川俣さん 岸君 日比野君 稲垣さん 石山さん(全員3年生)

## 知的財産教育国際シンポジウム in Tokyo

### 知的財産教育は 生徒自ら学びとる学習の原点

3月28日に本校を会場にして「知的財産教育国際シンポジウム in Tokyo」が実施されました。東海大学では、学園全体で知的財産教育(知財教育)を始めて5年になりますが、知財教育の知名度はまだ高くありません。知財教育とは、さまざまな知的財産を作ることを通じて、知的財産の創造、保護、活用について学ぶ教育です。しかし重要性はそれに留まりません。知財教育とは「教師が教える」教育に代わって「生徒が自ら学ぶ」教育を実現するひとつの手段なのです。この考えは世界的な傾向です。この考えに沿った東海大学の知財教育も海外から高い関心を集め

ています。シンポジウムの中ではアメリカの「キャンペーン」という夏季休暇中に行われる生徒の発見・発明を促すプログラムの紹介、フィンランドからはヨーロッパの起業家精神教育のネットワークの取り組みについての話があり、今後、東海大学は両国の活動と連携を深めていく予定です。日本の事例もいくつか紹介されました。高校の事例として本校の知財教育の取り組みについて研究主任の梶川克之教諭から発表がありました。このシンポジウムをきっかけにして知財教育がさらに普及していくことを期待しております。

# 2006年度学校運営方針

## — 創立70周年に向けてさらなる飛躍を —

この4月、527名の新生を迎えました。私たちは気持ちもあらたに、本校に入学した生徒の夢や希望を大切に、一人ひとりの能力を伸ばし、自己実現がはかれるように、教職員が力を合わせて指導いたします。また、家庭、地域社会との連携を深め、真に開かれた学校を目指し、実現できるように努力を重ねたいと思います。そのため、昨年度の実践をさらに、改善、発展させて、以下の12項目を今年度の重点目標として、学校改革に取り組んでまいります。

- 1 高校現代文明論の基本的枠組みに従い、内容の充実をはかり実践します。
- 2 高校・大学7年間の一貫教育の充実をはかります。
- 3 学園行事への積極的な参加を生徒にうながします。(学園オリンピックなど)
- 4 授業改革や知的財産教育への積極的な取り組みを推進します。
- 5 基本的生活習慣を身につけるよう、具体的な重点目標を設定し、指導します。
- 6 授業公開を実施し、開かれた学校づくりに努めます。
- 7 「生徒による授業評価アンケート」の結果を活用し、授業改善の具体的目標を設定し、各教科での組織的な授業改善に取り組みます。
- 8 授業における優れた教員の表彰制度(生徒・保護者・教職員が選ぶベストティーチャー制)により、教員資質の向上をはかります。
- 9 移動教室の充実、定着に努めます。
- 10 学習と部活動の両立ができるように指導します。
- 11 高輪カップ(中学生大会)を創設し、中学校との交流をはかります。
- 12 東海大学付属高輪台高等学校中等部設置の準備を進めます。

また、以上の12項目の目標とは別に、完成年度を迎えたSSH(スーパーサイエンスハイスクール)活動、総合グラウンドの第4次整備計画等、様々な活動が計画されています。

来月号からの『飛躍』で、細かくお知らせしていきたいと思ひます。

# ようこそ高輪台高校へ



**亀井 千尋**

1年1組 杉並区立荻窪中学校出身

私は受験期、なかなか志望校が決まらず悩んでいました。どこの高校に見学に行っても「もうここでいいかあ。」というような、すっきりしない、半ばあきらめの交じった気持ちにしかありませんでした。そんな時、東海大学の付属高校が通学可能な距離にあることを、たまたま受験冊子で知りました。私は自分の夢を叶えるため、大学は東海大学に進むと決めていたので、それまでにはなかった勢いでどんどん惹かれていきました。そして数

## 新入生の声

日後、説明会のため初めて高輪台高校に足を踏み入れたその日に、晴れ晴れとした気持ちで、固く受験を決意しました。それほどこの学校はたくさんの魅力で溢れていました。

そんな学校に今、入学した私はとても幸せです。これから新しい環境の中で生活していくにあたり、たくさんの壁にぶつかると思いますが、その都度その都度努力をし、力強く乗り越えていきたいです。

また、自分の夢を叶えるためにも勉強を決して怠らず、さらに部活動にも積極的に参加し、三年間を有意義なものにしていきたいと思います。

## 母の声

**亀井 奈津江**

1年1組 千尋さんのお母さん

娘は昨年夏、中学校の部活動を引退してから本格的に進路を考えるようになり、友人たちと体育祭・文化祭・学校説明会など数校まわっていたようです。秋になると私も何校か同行しましたが、娘は迷うばかりでパッとしません。そんなある日いつになく「ここは一緒に行って…!」と真剣な顔で言うのです。それがこの高輪台高校の学校説明会でした。正直申し上げ

て、東海大学に高輪台高校という付属の高校があるというのは、このとき初めて知ったのです。娘が自分の夢を実現させるために将来をイメージし、参考資料やインターネットで探し、自分で選んだのがこの学校でした。実際に学校を訪れ、先生方・先輩方のお話を聞くうち、娘と親の両方が「ここへ行きたい」「行かせたい」と強く思うようになりました。それからというものの勉強も一段と真剣みを増し、1月に晴れて合格通知をいただきました。今は娘も親も、ただただ高校での生活に期待し、ワクワクしています。これから3年間、この高輪の地で学園生活を満喫し、大きく成長して欲しいと思っています。先生方、2・3年の皆さん、どうぞご指導の程、よろしく願い致します。



生徒会長

**松橋 鑑**

3年7組 江戸川区松江第二中学校出身

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、どんな気持ちでこの学校に来ましたか。どんな事をしたくてこの学校に来ましたか。部活をがんばりたいとか、しっかり勉強をしたいとか、東海大学に入りたいとか…。生徒会役員になりたいという人がいたら良いですね!!

私が1年生の時はあまり実感できなかったので

## 歓迎!!

すが、「何かやりたいことがある人」として、これほど良い学校はありません。設備も充実しています。付属校なので、他の学校よりも長い期間部活や趣味に専念できます。また数多くの先生や友達は大きな支えとなってくれます。私達3年生もまだまだ力不足ですが、頼れる先輩になれるよう努力していきます。何か分からないことがあれば、気軽に相談して下さい。これから3年間、充実した学校生活を送って下さい!

在校生を代表して、心より歓迎いたします!!



# 希望を星につないで

## 部活動活動報告

### みんなで駆け抜けた4ヵ月 吹奏楽部

稲垣 翔子

3年3組 豊島区立池袋中学校出身

2006年3月21日に行われた全日本アンサンブルコンテストは、全国にある数々の高校の中から予選を勝ち抜いた22団体だけが出場できるコンテストでした。その中で私たちは銀賞を受賞しました。これまで、吹奏楽コンクールで全国大会に出場したことはありませんでしたが、アンサンブルで全国大会に出場するのは初めてです。このコンテストのステージに立つために、私たち8人は、先生方の協力のもと1月1日以外の4ヵ月、ほとんど毎日練習しました。私達は朝早くから夜遅くまで、講師の先生方に教えていただいたことをもとに、8人で厳しい練習も乗り越えてきました。そして、ついに全国大会出場でした。



金賞は逃しましたが、私達はアンサンブルの大切さ、心を合わせる大切さなど、沢山のものを得ることができました。これまで力強く導いて下さった講師の先生方ありがとうございました。また、陰となり日なたとなりお力添えくださった先生方、いつも支えてくれた部員、そして応援してくれた保護者の方々のご協力、本当にありがとうございました。

### 全国大会に出場して ゴルフ部

秋元 由加

3年4組 江戸川区立小松川第一中学校出身

私は、関東大会を準優勝という結果で、今回で二度目の全国大会出場となりました。滋賀県大津で行われた今回の全国大会は、指定練習日・試合1日目・試合2日目という3泊4日の2日間競技でした。試合初日は、悪天候で暑かったり寒かったり、強風に豪雨、最後には雷とまるで一日の中に四季があるような日でした。2日目はとても寒く、風も強まり、雪や雹が降ってくるといった状況でした。

他の選手たちは、各地区の代表だけあり、皆とても

力強いオーラを持っていました。その中で戦うことが出来ると思うと、とてもわくわくしました。また、試合にはたくさんのギャラリーがいました。中には他大学の先生方がオファーをする為に来ており、皆緊張の連続でした。今年は高校最後の年となりますが、これから先も結果を出していけるように頑張っていきたいと思います。



### 全国大会に出場して アーチェリー部

真島 志帆

3年8組 渋谷区立広尾中学校出身

様々な方の声援により無事、全国大会を終えてきました。アドバイスや応援、ありがとうございました。前回の関東選抜の時より、今回は気持ちも落ち着いていて、精神的にも肉体的にも良いコンディションだったと思います。結果は68位。慣れない土地ということや、不規則に吹く強い風の影響で決して納得のいく結果ではありませんでした。しかし第1の目標であった「試合を楽しむ」ということができたので、満足は

できました。その上、全国大会という大きな舞台で射つことができたのです。そして、そこで出会ったいろいろな地域の人と交流ができ、私には貴重な体験ができました。これからすぐ、インターハイや国体に向けての選考会が始まります。今回の経験を糧にしてさらに前進していきたいです。





# SSH活動報告

2005年度のSSH活動のまとめとして、3月19日、「関東近県SSH合同発表会」を本校アリーナで開催しました。本校を含め、関東エリアのSSH指定校8校が参加し、それぞれの研究をポスター、あるいは口頭で発表しました。本校からは、19名がポスター発表、2名が口頭発表を行いました。ほとんどの生徒が、このような大々的な催しで発表することは初めての体験で、内容について深く質問されるとたじろぐ姿もありましたが、全員が堂々と発表していました。人前で発表する難しさなども体験し、これがまたSSH3年目の課題の一つになると思います。また、他校の生徒の発表、意見交換、交流により、多くのことを学び、貴重な経験になりました。

## 発表を通して学んだこと

金子 文彦

2年10組 葛飾区立桜道中学校出身

私はポスターセッションで、リベラルサイエンスⅠで学んだ物理、その電磁波について発表しました。電磁波とは日頃見ている可視光線や、レントゲンで使われている放射線、テレビ等に使っている電波に分類されます。これを聞くと世界中に存在するもののほとんどに電磁波が関連していることが分かります。また、電磁波は放射状に広がるけれど、直線的にしか強い電波が行かないという特性を持っています。距離が離れると電波が弱くなるということです。私はこのポスターセッションを通して、伝えたいことをうまく表現することの大変さが分かりました。発表の時にはもちろん緊張しましたが、出来るだけ分かりやすく内容を伝えるという努力をしたので、自分のためになったと思います。

今年は課題実験という大きなSSH活動があるので、今回ポスターセッションした貴重な体験を生かし、頑張っていきたいと思います。



数多くのポスター発表が行われました



他校の生徒からの質問に答える和知君と平塚さん

## 口頭発表を終えて

和知 達哉

3年11組 川口市立青木中学校出身

今回のSSH合同発表会のなかで行われた口頭発表において、私は高輪台高校の代表として発表しました。その内容とは、試験管の中の植物に、赤と緑のLED、そして蛍光灯の3種類の光を当てたときのそれぞれの成長の違いを調べたものです。私は今まで、このような大舞台で発表した経験が無かったので、発表する前からとても緊張していました。そのせいか、発表では原稿を見ることに集中してしまい、あまり前を見ることができませんでした。また、他の高校の生徒から鋭い質問をされ、戸惑うこともありました。それでも、無事発表を終えることができ良かったです。また、他の高校の口頭発表は、どれも興味深く聴くことができ、良い刺激を受けました。今回の経験を生かして、より理解を深め、余裕を持って発表できるようになりたいと思います。

## ポスター発表を終えて

則本 翔

3年11組 川崎市立川崎中学校出身

私は今回、これまで数ヶ月かけて調べてきた内容をポスターにまとめ、それを見せながら発表しました。私が調べたのは水質についてです。水道水や浄化水など、数種類の水に、有機物やアンモニア性窒素などの含有量がどれくらいあるかを調査しました。私は、ポスター発表とは、ただポスターを前にして一方的に説明すれば良いのだと思っていました。しかし実際はそうではありませんでした。予測もつかないことを質問され、答えに窮することもありました。他人に分かりやすく説明することの難しさを知りました。内容を深く理解し、自信を持っていなければならないこと。さらに、自分自身が多くのことに興味・関心を広く持っていなければならないのだとも実感しました。また、視聴者から別の実験方法を教えてもらい、大変参考になりました。今後は自分の研究をさらに深めたいと思います。



自分の研究について説明する奥山君

# School Staff Corner

## 教職員のコーナー

### 新しいスタート地点に立った今

1年4組担任  
石井 みなみ  
数学科、吹奏楽部顧問



新たなスタート地点となる高輪台高校は、私の母校でもあります。高校を卒業したのはつい最近の事だと感じるくらい、高校時代の記憶は鮮明です。それだけ、私にとって高輪台高校で過ごした日々は中身の詰まったものでした。特に吹奏楽部の部活動経験は、私の人生に大きな影響を与えてくれました。何か目標に向かって頑張る姿勢、努力する事の意味と難しさ、人に感謝する事、仲間の大切さと思い

やりの気持ち、たくさんの事を学びました。そして、何度も挫折しそうになりながらも最後までやりきる事ができ、こんなに多くの事を学べたのは、いつも側にいてくれる家族や友達がいてくれたから、また多くの先生方が陰で支えてくれたからだという事に気付きました。

教員を志す様になったのもその頃からです。私も生徒を陰から支えられる様な教師になりたいと思っ

たからです。色々な事を学んだこの高輪台高校に、教員として戻ってこられた事をとても光榮に思います。

そう簡単に、教員という仕事が勤まるとは思っていません。しかし、いつでも生徒を第一に考える気持ちだけは忘れずに、そして私という人間を包み隠さず一人の人間として、生徒と接する事ができる教員を目指して精進致します。

## 海外研修・留学の紹介

海外研修・留学は語学のスキルアップだけではなく、高校生の自立心、向上心、克己心などを養います。また異文化を見聞・体験することで知識を深め、さらに相互理解の大切さ、和の大切さなどが身につきます。そして何より、親から離れ、人への感謝の心が芽生えます。昨年はカナダ中期留学に13名が、SHIPに5名、FESTに1名が本校より参加し、それぞれ、実り多い体験をして帰国しました。学園主催と、本校独自の企画について紹介します。みなさん参加してみませんか。

2005年度カナダ中期留学



名称(主催)	期間	費用	主な内容	対象学年
ヨーロッパ研修旅行 (学校法人東海大学)	12月中旬～ 12月下旬	約35万円	デンマーク、ドイツ、オーストリア、フランスを巡り歴史と異文化を学びます。	全学年
FEST HTIC 長期留学 (本校)	9月下旬～ 3月中旬	約140万円	全教科ネイティブによる現地学生と同様の徹底指導。学校から奨学金30万円が給付されます。	3年生 (1～2名)
SHIP HTIC 中期留学 (学校法人東海大学)	12月中旬～ 2月下旬	約80万円	全教科ネイティブによる少人数制の英語による授業。より高いレベルの総合的な英語力を身につけるために、アメリカと同じ教育方針で、集団生活の中で多くの課題に取り組みます。	3年生
カナダ中期留学 (本校)	1月初旬～ 3月初旬	約80万円	当初現地の語学学校で学び、次に、現地のハイスクールに通学します。留学中はホームステイです。	3年生

注1) HTICはハワイ東海インターナショナルカレッジの略称です。  
 注2) ヨーロッパ研修旅行については、学園全体の参加希望者が30名に満たない場合は、実施されないことがあります。  
 注3) FEST以外は、すべて本学園または本校の教員が引率します。  
 注4) 詳細については、後日発表される実施要項をご覧ください。  
 注5) 参加希望者には面接・審査があります。

## 活躍

## する卒業生

## Active Graduates

1994年卒

小田川 真也

小田川接骨院柔道整復師

「希望を星につないで活躍する先輩」。今月は、接骨院を開業していらっしゃる小田川真也さんを紹介いたします。小田川さんは中学生の頃から将来はお父様と同じ柔道整復師になることを目指していました。本校在学中は、建学の精神そのままに、柔道と勉学の文武両道を貫き、柔道は都大会でベスト8の成績。難関の国家資格修得後、師と仰いだお父様からは独立し、萩中に念願の柔道場を備えた接骨院を開いています。患者さんの立場にたって治療をされ、夜は柔道を通して青少年の育成を図るその姿勢が患者さんや地域の信頼を得ていらっしゃいます。

私は、平成4年まだ男子校だった高輪台高等学校へ入学し、柔道部に所属し、3年間酒井孝允先生の指導を仰ぎました。3年次は主将として、ただひたすら柔道に打ち込む日々を送っていました。3年間柔道部に所属して、高輪台で学んだことは、言葉では言い表せないものがあります。

高輪台高校卒業後は、東海大学開発工学部医用生体工学科へ進み、柔道と学問を両立させました。大学卒業後、平成11年、日本柔道整復専門学校へ入学しました。柔道整復学を学びながら小田川接骨院へ研修、小田川幸弘先生の指導のもと、骨折、脱臼、捻挫、打撲、

挫傷（肉離れ）等の整復、治療を学びました。国家資格修得後、誠道館清水接骨院、清水利明先生のもと研修し、「痛み」を除去、和らげる手法を学び、〈萩中〉小田川接骨院開業に至りました。現在顧問病院の医師との連携をとりながら、地域の人々の治療にあたっています。昼は接骨院で地域の方、特に高齢者の方を中心に治療にあたっているわけですが、ただ治療するというのではなく、会話を通して、心の健康にも繋がればと願っています。また、夜は道場で地域の子供達に柔道を教えています。柔道を通して礼儀や作法を身につけた人間形成ができればと、指導しています。

また、東京都接骨師会に所属しており、柔道の大会等の救護員として、陰ながら大会を応援すると共に、後輩達の活躍を見守っています。

みなさんも、高輪台で学んだことを大切に、目標に向かって頑張ってください。



## 高輪短大 INFORMATION

## IT社会を支える「Webアプリケーション」の開発



90年代、急速にパソコンが家庭に普及したおかげで、学校に加えて、家庭でもコンピュータが利用できるようになりました。オフィスソフトウェアの利用の他に、インターネットに接続し、Webページやブログなどの閲覧、地図・路線に代表される

情報検索への活用が多いのではないでしょうか。コンピュータを取り巻く機器や技術は、進化を続けています。高校生の皆さんが社会で活躍する頃には、ショッピング・チケット予約など、より店舗に近い活用法が多くなっていることでしょう。このような場合、閲覧する内容を作成するだけではなく、プログラミング技術を活用して送受信される情報を蓄積して、必要に応じてそれらを再利用する処理が加わります。これらを「Webアプリケーション」と呼んでいます。IT社会を支える分野で

は、この必要性が高まっていくことになっていきます。私の卒研では、このしくみを紹介して、簡単なシステム作成を行っています。特徴は、「オープンソース」と呼ばれるリナックス環境を体験できることです。今後はテーマを増やし、スキルアップを考えています。

〈追伸〉私は高輪台高校の卒業生（1981年度）です。今と違って、旧校舎で男子校の時代でした。隣接する短期大学で教鞭を取っていることに、不思議な縁を感じます。後輩たちの「これから」に期待をしています。

講師 荒木 修一



# お知らせ

## 校外活動・スポーツ大会(5月13日) 充実した一日を!

**3年 親睦**  
を深めよう  
新緑のもと野趣溢れる  
バーベキュー

**2年 新クラスでの**  
**団結と友情**  
設備も新たな本校総合グラウンドでの  
スポーツ大会 運動靴を決して  
忘れないこと。

**1年 夢を**  
見つけよう  
最先端の教育を誇る  
東海大学見学

## 漢字検定試験 日程変更!!

6月10日(土)⇒6月16日(金)放課後  
1月27日(土)⇒1月26日(金)放課後  
金曜日の放課後に変更です。チャレンジしてみよう! 2級合格目指せ!!



### 行事 予定

## May 5月

## June 6月

- 1日(月) 朝礼、水曜日の授業
- 3日(水) **憲法記念日**
- 4日(木) **国民の休日**
- 5日(金) **こどもの日**
- 8日(月) 校医相談日(15:00~17:00)
- 10日(水) 一斉公開授業、専門医によるカウンセリング
- 11日(木) 学年集会(3年)
- 13日(土) **校外活動(1・3年)**  
**スポーツ大会(2年、総合グラウンド)**
- 16日(火) 水曜日の授業
- 17日(水) 中学校巡回、中学校訪問(1年)、**生徒自宅学習(2・3年)**
- 18日(木) 生徒による授業評価アンケート
- 20日(土) 第34回後援会定期総会  
第3回部活動後援会定期総会
- 23日(火) 中間試験(~26日)
- 29日(月) 教育実習(~6月16日)

- 1日(木) 東海大付属推薦小論文試験(3年)  
小論文コンテスト(1・2年)
- 2日(金) 朝礼、生徒総会(7限目)
- 3日(土) 後援会委員総会
- 5日(月) 剛健旅行検診(1・2年)
- 6日(火) 剛健旅行検診(2・3年)
- 8日(木) 学年集会(2年)
- 10日(土) 英検、後援会学年懇談会
- 12日(月) 校医相談日(15:00~17:00)
- 14日(水) 専門医によるカウンセリング
- 16日(金) 漢検
- 17日(土) 保護者会(1年)
- 19日(月) **研修旅行(2年)(~24日)**  
4時限授業(1・3年)(~23日)
- 21日(水) **自宅学習日(1年)、スポーツ大会(3年、総合グラウンド)**
- 24日(土) **スポーツ大会(1年、総合グラウンド)**

## 2006年度入学式の様子



### 編集 後記

美しい5月を「女の服の軽やかに美しくなる月」と歌ったのが、与謝野晶子。彼女と熱情的な恋で結婚した与謝野鉄幹は、「妻を娶らば才たけて、見目うるわしく、情けあり」と。この歌は流行歌となって一世を風靡した。見目うるわしくとは、目鼻立ちをいうのではなく、化粧をした姿をいうのではなく、内面から光る美しさをいう。ところで、素肌の最も美しい頃は20代前半まで。その素肌を化粧して化けて装う中学・高校生が多く見られる。もったいない。近頃、化粧品会社は対象を小学生にまで広めている。現代文明論をここにおいても深く、深く考えてみたい。(ゆ)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>